

「ドッカーン、ぼくだんがおちるぞ。」

「わーこわい、たすけて」

ぼくは、『せんそう』ということばをきくと、こんなこうけいがあたまの中にかびます。にげるたくさんのひとびと、

「こわいよー、たすけてー」

となきさけぶ子どもたち、ぼくは、今のへいわなじだいにうまれてよかったなと、心から思います。

ぼくのお父さんは、カデナ町出しんです。カデナは、今でもたくさんのアメリカぐんきちがあります。カデナのおじいちゃんのうちに行くと、やらにあるあんぽのおかにいきます。あんぽのおかからは、アメリカぐんきちが見えます。そこからは、たくさんのせんとうきや、こわそうなアメリカぐんの人がみえました。ぼくは、まだせんそうがおわっていないようなかんじがしてこわくなりました。

かでなのおばあちゃんが、

「かでなは、二十四時間、アメリカのひこうきの音がうるさいから、あまりまどはあけられないんだよ。早くかでなからきちがなくなればいいのにな。」

といました。ぼくは、せんそうがおわってもう、六十七年もたつのに、まだ、せんそうのきずあとがのこっているんだなと思いました。

ぼくは、せかいの中で、いまもせんそうをしているところがあるときいて、びっくりしました。あんなにこわいのにな、どうして人間は、ころしあったり、きずつけあったりするんだろうと、思いました。

ぼくは、テレビや本でしか、せんそうのようすは見たことがないけど、見るだけでも、こわくて、おそろしくて夜もねれないぐらいびっくりしました。ぜったいこんなこわいせんそうは二度とおきてほしくないと思いました。

ぼくは、人間は、どうして、こんなおそろしいせんそうをするのかふしぎでした。お母さんが、

「どものり、せんそうはね、とものりがおともだちとケンカするのと同じように、国と国がケンカするんだよ。」

といました。

ぼくは、人間の心が、国をよくもし、わるくもするんだなあと思いました。

ぼくは、まだ小学三年生だけど、大きくなったら、おきなわから、きちがなくなるようにしたいと思います。そして、おきなわからせんそうのきずあとを、けしいたいと思います。おそろしいせんそうがおわり、へいわなしまになった今、みんなできちをなくし、本当の平和をめざしていきたいと思いません。そして、おきなわからへいわのメッセージをだし、せかいがへいわになり、みんながえがおでしあわせにくらせたらいいです。

ぼくは、大すきなおきなわがずっとへいわであるように、ぼくができることからがんばります。